



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日

上場会社名 シキボウ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3109 URL http://www.shikibo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清原 幹夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 竹田 広明 (TEL) 06-6268-5411  
 コーポレート部門長  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	24,678	△14.1	825	△43.6	585	△50.9	406	△49.8
2020年3月期第3四半期	28,729	△5.4	1,463	△12.6	1,192	△17.5	809	△5.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 288百万円(△59.0%) 2020年3月期第3四半期 704百万円(△11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	37.64	—
2020年3月期第3四半期	75.02	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	84,914	32,388	36.8
2020年3月期	85,128	32,549	36.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 31,250百万円 2020年3月期 31,305百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,600	△14.3	900	△54.0	500	△68.2	400	△58.4	37.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	11,810,829株	2020年3月期	11,810,829株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,021,801株	2020年3月期	1,024,587株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	10,787,970株	2020年3月期3Q	10,785,472株

- (注) 当社は株式報酬制度（役員向け株式給付信託）を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世界的に社会・経済活動が停滞し、企業活動や個人消費は低迷いたしました。その結果、企業収益は低下、雇用環境は大幅に悪化し、非常に厳しい状況が継続しております。昨年5月の緊急事態宣言解除以降は、徐々に経済活動回復の兆しが見られましたが、昨年末からの新規感染者の増加に伴い、今年1月には首都圏や関西圏を含む11都府県に再び緊急事態宣言が発出され、依然、先行きは非常に不透明な状況となっております。

当社グループにおいても、新型コロナウイルス感染症により、全てのセグメントで影響を受けており、個人消費の低迷、百貨店や小売店の休業、インバウンド需要の減少等、非常に厳しい事業環境となりました。当社グループでは、今年度は3ヵ年の中期経営計画「CG Final 18-20」の最終年度でありましたが、その計画は一時凍結し、コロナ禍に対応するための緊急経営計画「Revival Plan 2020-2021」（通称：Revival 20-21）を実行しております。Revival 20-21では、中期経営計画の基本方針は継続しつつ、コロナへの緊急対応、復旧に向けての対応、新しい日常への対応など現状に即した施策等を実施しております。まず1年目（2020年度）は、緊急対応期として「止めること」「変えること」に取り組んでおり、さらに、2年目（2021年度）はアフターコロナの新しい日常に対応する事業やビジネスモデルを積極的に「加速すること」、そして「新たに創ること」に取り組み、コロナにより事業環境が一変した中で、コロナ禍からの復活・変身を目指しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は246億78百万円（前年同期比14.1%減）、営業利益は8億25百万円（同43.6%減）、経常利益は5億85百万円（同50.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億6百万円（同49.8%減）となりました。

#### (繊維セグメント)

繊維セグメントでは、各事業分野において新型コロナウイルス感染症の影響を受けております。特に緊急事態宣言時には、百貨店等の休業や営業活動の制限により、モノの動きやヒトの動きが止まり、大きな影響を受けました。

一方で、第3四半期に入り、抗菌・抗ウイルスといった衛生加工関連商材の受注や引き合いが拡大しており、特に抗ウイルス加工「フルテクト®」は従来のメディカル分野だけではなく、作業用ユニフォームやスポーツ衣料、さらには一般カジュアル衣料にも販路を広げております。また企業備蓄用を主な販路としたB to Bの商品であったフルテクトマスクは、一般消費者への販売も開始しております。

原糸販売事業は、国内市場においては中高級衣料品の需要低迷の継続に加え、各種産地向け販売での受注減少が大きく、操業調整等により原価低減を行っておりますが、厳しい状況が継続しております。

輸出衣料事業は、中東市場においてもコロナ禍の影響が継続し、市場は回復基調ではあるものの、依然在庫過多の状況が継続しております。

ユニフォーム事業は、ユニフォーム生地販売では備蓄アパレルでの在庫過多の影響や企業制服更新の延期等で、ニット製品販売では各アパレルでの発注抑制の影響で苦戦をしております。しかしながら、抗ウイルス加工「フルテクト®」を使用した素材につきましては、大手量販店での販売を開始するなど、各種用途向けで販売が拡大しております。

生活資材事業は、リネン資材分野においては、ホテル等のリネンサプライ関連が苦戦いたしました。リビング分野においては、巣ごもり需要による販売増加や、「フルテクト®」を使用した素材販売の増加により堅調に推移しております。

以上の結果、繊維セグメント全体としての売上高は129億77百万円（前年同期比15.7%減）となり、営業損失は2億61百万円（前年同期は1億70百万円の営業損失）となりました。

#### (産業材セグメント)

産業材セグメントでも、新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、受注の減少が継続しております。

産業資材部門では、製紙用ドライヤーカンバス事業は、紙生産量の減少に伴い、カンバス需要も低調に推移し減収となりました。フィルタークロス事業は、民需が低調に推移し減収となりましたが、製造コスト改善施策の効果により増益となりました。また、空気清浄機分野では、前年同期に海外向け大型スポット物件が発生した反動から減収減益となりました。

機能材料部門では、化成品事業は中国向けの化学品輸出が、市況悪化の影響により需要減少となりました。しかし

ながら、食品分野の増粘多糖類等が堅調に推移した結果、全体ではほぼ前年並みとなりました。複合材料事業は、電力分野等の複合材料部材が堅調に推移いたしましたが、航空機用途は、コロナ禍による航空機需要低迷の影響を受け、部品生産が大幅に減少した結果、全体では減収となりました。

以上の結果、産業材セグメント全体としての売上高は80億60百万円(前年同期比11.9%減)となり、営業利益は2億30百万円(同59.7%減)となりました。

#### (不動産・サービスセグメント)

不動産賃貸事業は堅調に推移いたしました。しかしながら、リネンサプライ事業は、一時はGo To トラベルキャンペーンにより回復の兆しがありましたが、昨年末からの同キャンペーンの一時停止によるホテルの休業などの影響もあり、期間全体を通しては苦戦が継続しております。

以上の結果、不動産・サービスセグメント全体としての売上高は40億98百万円(前年同期比12.5%減)となり、営業利益は12億82百万円(同15.2%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は849億14百万円となり、前年度末に比べ2億14百万円の減少となりました。これは主に、売上債権の減少によるものであります。

負債は、525億25百万円となり、前年度末に比べ53百万円の減少となりました。これは主に、有利子負債が増加したものの、仕入債務の減少によるものであります。

純資産は、323億88百万円となり、前年度末に比べ1億60百万円の減少となりました。これは主に、配当金の支払に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前年度末と同様、36.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月10日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,520	6,468
受取手形及び売掛金	7,500	6,866
電子記録債権	1,398	1,729
商品及び製品	5,505	5,671
仕掛品	1,550	1,709
原材料及び貯蔵品	1,139	1,030
その他	740	672
貸倒引当金	△13	△21
流動資産合計	24,341	24,127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,735	45,402
減価償却累計額及び減損損失累計額	△31,464	△32,101
建物及び構築物(純額)	12,270	13,301
機械装置及び運搬具	26,711	27,062
減価償却累計額及び減損損失累計額	△24,702	△24,849
機械装置及び運搬具(純額)	2,008	2,212
工具、器具及び備品	1,592	1,651
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,401	△1,444
工具、器具及び備品(純額)	191	206
土地	40,749	40,749
リース資産	2,306	2,060
減価償却累計額	△1,126	△1,008
リース資産(純額)	1,179	1,051
建設仮勘定	1,240	272
有形固定資産合計	57,640	57,794
無形固定資産	275	258
投資その他の資産		
投資有価証券	764	814
繰延税金資産	1,740	1,541
その他	502	453
貸倒引当金	△134	△74
投資その他の資産合計	2,872	2,734
固定資産合計	60,787	60,787
資産合計	85,128	84,914

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,086	3,630
短期借入金	10,172	10,063
1年内償還予定の社債	1,220	1,240
未払費用	558	523
未払法人税等	62	14
未払消費税等	125	96
賞与引当金	602	273
関係会社整理損失引当金	50	—
その他	1,259	1,167
流動負債合計	18,138	17,009
固定負債		
社債	3,310	3,290
長期借入金	12,257	13,460
リース債務	1,022	907
繰延税金負債	175	178
再評価に係る繰延税金負債	6,449	6,449
退職給付に係る負債	6,600	6,661
役員退職慰労引当金	66	66
修繕引当金	36	35
その他の引当金	262	179
長期預り敷金保証金	4,150	4,149
その他	109	137
固定負債合計	34,441	35,516
負債合計	52,579	52,525
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,336	11,336
資本剰余金	974	974
利益剰余金	8,479	8,450
自己株式	△1,237	△1,234
株主資本合計	19,552	19,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	88
繰延ヘッジ損益	△13	△45
土地再評価差額金	13,675	13,675
為替換算調整勘定	△1,376	△1,514
退職給付に係る調整累計額	△538	△479
その他の包括利益累計額合計	11,753	11,723
非支配株主持分	1,243	1,138
純資産合計	32,549	32,388
負債純資産合計	85,128	84,914

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	28,729	24,678
売上原価	22,986	19,940
売上総利益	5,742	4,738
販売費及び一般管理費	4,279	3,913
営業利益	1,463	825
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	19	23
受取保険金	30	—
補助金収入	—	254
雑収入	42	58
営業外収益合計	97	340
営業外費用		
支払利息	177	182
新型コロナウイルス感染症による損失	—	236
雑支出	189	160
営業外費用合計	367	580
経常利益	1,192	585
特別利益		
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	—	102
固定資産売却益	8	0
受取保険金	38	—
その他	0	1
特別利益合計	47	104
特別損失		
投資有価証券評価損	—	45
固定資産除却損	34	24
固定資産売却損	11	0
災害損失	37	—
その他	6	—
特別損失合計	89	70
税金等調整前四半期純利益	1,150	620
法人税、住民税及び事業税	127	90
法人税等調整額	221	201
法人税等合計	349	292
四半期純利益	801	327
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△78
親会社株主に帰属する四半期純利益	809	406



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	801	327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	82
繰延ヘッジ損益	13	△32
為替換算調整勘定	△131	△148
退職給付に係る調整額	46	58
持分法適用会社に対する持分相当額	6	—
その他の包括利益合計	△97	△39
四半期包括利益	704	288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	708	376
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

上海敷紡服飾有限公司は、会社を清算したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,380	9,145	4,203	28,729	—	28,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	—	480	490	△490	—
計	15,390	9,145	4,684	29,219	△490	28,729
セグメント利益又は損失(△)	△170	572	1,512	1,914	△451	1,463

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△451百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,961	8,060	3,656	24,678	—	24,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	—	441	457	△457	—
計	12,977	8,060	4,098	25,136	△457	24,678
セグメント利益又は損失(△)	△261	230	1,282	1,251	△426	825

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△426百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。